

令和7年度
すくわくプログラム活動報告書
(実施対象：3歳児クラス)

モニカ人形町園

Monica

テーマ

紙の変化

設定理由

夏頃より画用紙や花紙を使った遊びをする姿が増えた。その中で、画用紙を丸めてテープで止める、何度か折る、花紙をちぎって遊ぶ、息を吹きかけて飛ばす等し、紙の形や動きが“変化する”ことに興味を持っている姿があり、紙の探究を実施することになった。

対象クラス

3歳児クラス・11名

活動のねらい

素材の変化に気づく

問い

「何を触った時と似ている？」
「どんなふうに、動く？」

活動期間

令和7年8月～10月

活動回数

計4回

活動内容

- ① 6種類の紙を使い、折る・破るなどして遊ぶ。（紙と出会う）
- ② 花紙を使って遊ぶ。（花紙の感触や動く様子に気づく）
- ③ 花紙を水に入れる。（水に入れる前後で感触の変化に気づく）
- ④ 4種類の紙を水に入れる。（紙を動かし、素材の違いに気づく）

環境構成

素材として用意した紙に着目できるように、机と紙、スポットライトとアクリルケース（水を入れたもの）と紙等、シンプルな環境を用意する。また、保育者が子ども同士の親密度や一人ひとりの発達段階を考慮して2～3名ずつのグループを作り、数名ずつ分かれて活動する。紙は画用紙、新聞紙、古紙、花紙、模造紙、コピー紙を使用。

- ・ ①では、紙を机に並べる・テープで壁に貼る・糸で吊るす等し、全身を使って紙と遊べるようにする。
- ・ ②及び③では、白い花紙のみを用い、色ではなく紙の感触や揺らぎに着目できるようにする。
- ・ ③及び④では、机と椅子、スポットライトを用い、ゆったりとした空間の中で活動できるようにし、水に入れた時の紙の感触や紙の変化、違いに触れられるようにする。

令和7年 9月1日～9月5日
重田

『紙との出会い』

どの折り紙にしようかな？

どんな色があるんだろう。

触れてみよう。



さんかくにしたよ。



飛行機になったよ。

折りから生まれる

『折ってみる』

形を変化をさせてみる。

何に見えるかな？

もっと折ってみる？

かたちとしこころ

『見立てる』

遊びの中でイメージが膨らんでいく。

友だちは何を折っているのだろう。真似してみようかな？

何度も折ってみることで形はどんどん変わっていく。



難しいな。

かたいから、われないんじゃない？

令和7年10月20日（月）
～10月24日（金）
きりん組

花紙が水の中で“動く”様子に気づいていた子どもたち。種類の異なる紙を水の中で動かすと…。

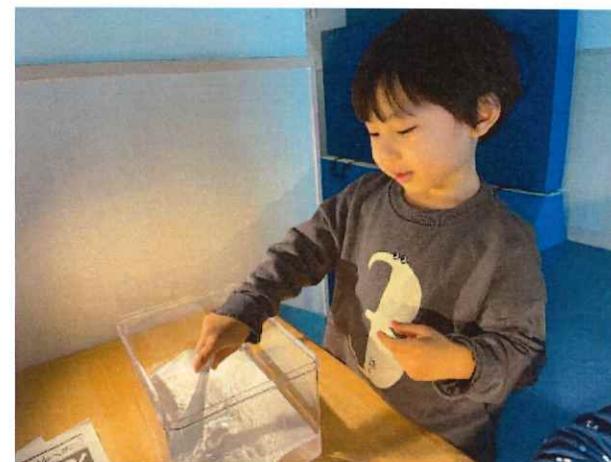


【画用紙】

ずっと、ういてるよ。ぜんぜん、われないね。

かたいから、われないんじゃない？

→てでつよくやったら、やぶれたよ！



【花紙】

ふわってして、ちいさくなった。

はやく、しずんじやった。

あんまりかたくないよ。

ちいさいから、われた？

紙の動きをじっと見つめ、感覚を掌に集中させる。

五感を使い、混ぜて、押して、持ち上げて、揺らして…紙を動かす。

せんせい、みて。

“われる”ものと“われない”ものに気づいた様子の子どもたち。

かたいから？ちいさいから？

素材の不思議さと、新たな“なんで？”に出会えたかもしれません。（宮下）

みて、およいでる。

令和7年9月22日(月)
～9月26日(金)
きりん組



おみずにいれたら、どうなるんだろう。

ふわふわだったのに…。

べちゃべちゃってなった。

変化していく、紙の感触。

目に映るのは、ふわふわだった紙。

まるめたのに、ひろがった。

なんか、クラゲみたい。

みて、およいでる。

しずんじゃった…。

びりびりのは、ういているよ。



小さな手の中で、紙が遊んでいる。

ここはまるで海の中。

1枚の紙が、私たちの心を動かす。

花紙の感触の変化を味わいながら遊ぶ中で
紙が“動く”様子に気づいたようです。(宮下)

使用物

紙(画用紙・新聞紙・古紙・花紙・模造紙・コピー紙) | 糸 | テープ | 水槽 | スポットライト
椅子 | 机

テーマ：紙の変化

全体の振り返り

紙を使って遊ぶ中で、「(丸めて広げると) ふわふわになった。」と感触について話す姿があった他、「おみずにいれたら、どうなる？」と話す姿が見られ、3回目では紙を水に入れた際の感触の変化を観察した。紙が沈み、水の中で広がる様子に対し「クラゲみたい。」「泳いでる。」と、紙の動きに気づく姿があった。4回目に保育者が数種類の紙を用意すると、ずっと浮いている紙や、すぐに破れて沈む紙等、素材による動きの違いに気づき、理由を考える姿が見られた。その際、「かたいから、われない(破れない)んじゃない？」と話し、紙の硬さの違いに興味を持つ姿もあった。

反省として、紙という素材への興味に個人差があったこと、保育者自身が子どもの姿に対してあらゆる可能性を予想し、準備しておくべきだったことが挙げられた。今後は、応答性のある素材として適した自然物を用い、更に探究が深まるよう今回以上に事前準備にも力を入れていく。

終



株式会社モニカ

〒105-0004
東京都港区新橋1-9-5 KDX新橋駅前ビル 3F
TEL:03-6661-2466
FAX:03-6661-2467

モニカ人形町園

〒103-0013
東京都中央区日本橋人形町3-4-8
アイビーコート日本橋人形町
TEL:03-6264-9244
FAX:03-6264-9245